

1.計画名称

一般廃棄物(ごみ)処理基本計画

2.計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	やや遅れている	説明	(R4・総括評価共通)この5年間の総括とすれば、美サイクル茅野との協働によるごみ減量に向けた啓発活動や令和3年10月からその他プラスチックの分別収集を開始したが、一方で、スーパーなどでの民間事業者による資源物収集が活発に行われていることなどにより、目標に掲げた可燃物の減量やリサイクル率を達成することができなかった。
今後の重点化施策番号	2	説明	今後、さらにごみの減量とリサイクルを進めていくには、家庭系ごみの有料化、事業系ごみの料金改定などを検討する時期にきている。また、人口減少・高齢化社会を迎え、環境自治会役員の負担軽減にも取り組む必要がある。

3.各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	住民・事業者・行政の役割の明確化と実行(3)	やや遅れている	(R4評価)剪定木のウッドチップ化、木製家具類の資源化、その他プラスチックの分別収集により、資源化を継続して実施した。 (総括評価)剪定木のウッドチップ化、木製家具類の資源化、その他プラスチックの分別収集により、資源化を継続して実施した。	(R4評価)可燃ごみステーションに混在ごみが排出され、環境自治会役員等の負担が大きい地区があることから、負担軽減に向けた取組が必要。 (総括評価)ごみの分別による可燃ごみの減量化、資源化への取組、環境自治会役員等の負担軽減に向けた取組が必要。	環境自治会役員等の負担軽減に向けた取組を検討する。 ごみの分け方・出し方の新たな周知方法を検討する。
2	発生抑制(Reduce)、再使用(Reuse)、再利用(Recycle)の推進(2)	遅れている	(R4評価)排出される可燃ごみを減量するため、資源化を推奨し適切に処理するための周知や、美サイクル茅野と連携した取り組みを継続して行っている。 (総括評価)排出される可燃ごみを減量するため、資源化を推奨し適切に処理するための周知や、美サイクル茅野と連携した取り組みを継続して行っている。	(R4評価)排出されるごみの量は若干増加したが、リサイクル率に大きな変化は見られない。引き続き市民の環境に対する意識を向上させる取り組みを継続して行うことが必要である。 (総括評価)リサイクル率をさらに向上させるためには、事業系ごみの分別、資源化を促す必要がある。	美サイクル茅野と協働して、ごみ減量に向けた新たな取組を検討する。 事業者向けのパンフレット等を作成し、事業系ごみの分別、資源化を促す。
3	環境に配慮した効率的なごみ処理体系の構築(1)	おおむね順調	(R4評価)焼却施設の定期的な点検を実施し、必要な修繕工事を施工した。また、老朽化状況を確認するため精密機能診断を実施した。 (総括評価)焼却施設の定期的な点検を実施し、必要な修繕工事が施工できたことで、安定したごみ焼却が行われた。	(R4評価)施設が稼働してから20年以上経過し、施設への負荷軽減のため、ごみの減量化による排出抑制に取り組む必要がある。 (総括評価)精密機能診断の結果に基づき、今後も長期間使用するために、計画的な修繕計画の策定が必要である。	清掃センターの精密機能診断結果を踏まえ、安定した焼却処理を行っていくための改修工事計画を策定する。
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

4.関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		